

1. 件名：福島第一原子力発電所における大型廃棄物保管庫建屋の耐震補強に係る面談
2. 日時：令和6年1月10日（水）16:00～17:15
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
椎名係長、山下安全審査専門職、植木技術参与
地震・津波審査部門
江寄企画調査官、千明上席安全審査官、三浦技術参与
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当2名（うち2名テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当8名（うち3名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、今後申請予定の大型廃棄物保管庫建屋の耐震補強の概要について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁は説明を受けた内容について事実関係を確認するとともに、主に以下のコメント等を伝えた。

- 地震応答解析に用いる入力地震動の選定評価フローについて、耐震性の安全余裕の観点も含めて、各ステップにおける判定基準を整理し示すこと。
- 耐震補強後における機器側の解析ケース選定について、減衰1%の加速度応答スペクトルも併せて示すこと。また、最大応答加速度も示すこと。
- 露出柱脚（アンカーボルト）の構造・仕様、物性値、許容限界、M-N曲線図の算定概要を示すこと。
- 耐震性評価に関して、建屋の機能維持と吸着塔への波及的影響に対応した評価内容が識別できるように整理し示すこと。
- 地震応答解析に用いた入力地震動のうち、Ss900-1における位相の異なる水平方向模擬地震波について、既認可で使用した模擬地震波との関連性を明確にし示すこと。

○東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 解析ケースの選定について
- 大型廃棄物保管庫建屋の構造強度及び耐震性について（別紙-3）

以上